

様式1

整理番号 1

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山
施工箇所：千尋・加茂助

都道府県名：三重

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	2,780	
		a-2	11,487	
	流域貯水便益	b-1	583	
		b-2	2,410	
	水質浄化便益	c-1	713	
		c-2	2,946	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	83,184	
便 益 合 計 (B)			104,103	
事業費 (C) (様式2にて算出)		43,269 千円		
費用対効果分析	$B \div C = \frac{104,103}{43,269} = 2.41$			

様式1

整理番号 2

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山
施工箇所：清水谷

都道府県名：滋賀

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	435	
		a-2	2,300	
	流域貯水便益	b-1	79	
		b-2	417	
	水質浄化便益	c-1	96	
		c-2	509	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	43,992	
便 益 合 計 (B)			47,828	
事業費 (C) (様式2にて算出)			30,769 千円	
費用対効果分析	$B \div C = \frac{47,828}{30,769} = 1.55$			

様式1

整理番号 3

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：生活環境保全林整備

都道府県名：京都

施工箇所：嵐山

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	8,037	
		a-2	2,953	
	流域貯水便益	b-1	3,471	
		b-2	1,275	
	水質浄化便益	c-1	4,243	
		c-2	1,559	
環境保全便益	保健休養便益	p	31,170	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	217,378	
便 益 合 計 (B)			270,086	
事 業 費 (C) (様式2にて算出)			187,460 千円	
費用対効果分析	$B \div C = \frac{270,086}{187,460} = 1.44$			

様式1

整理番号 4

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山
施工箇所：カンカケ

都道府県名：兵庫

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	386	
		a-2	5,903	
	流域貯水便益	b-1	74	
		b-2	1,138	
	水質浄化便益	c-1	91	
		c-2	1,391	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	52,233	
便 益 合 計 (B)			61,216	
事業費 (C) (様式2にて算出)			48,336	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{61,216}{48,336} = 1.27$			

様式1

整理番号 5

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：予防治山
施工箇所：深谷

都道府県名：兵庫

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評価額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	1,634	
	流域貯水便益	b-1	768	
	水質浄化便益	c-1	938	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	126,222	
便 益 合 計 (B)			129,562	
事業費 (C) (様式2にて算出)			12,500	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{129,562}{12,500} = 10.36$			

様式1

整理番号 6

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：特定流域総合治山

都道府県名：兵庫

施工箇所：草谷・大谷山

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	17,928	
	流域貯水便益	b-1	2,621	
	水質浄化便益	c-1	3,205	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	15,010	
便 益 合 計 (B)			38,764	
事 業 費 合 計 (C) (様式2にて算出)			14,544	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{38,764}{14,544} = 2.67$			

様式1

整理番号 7

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山
施工箇所：比曾

都道府県名：奈良

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	1,916	
		a-2	5,576	
	流域貯水便益	b-1	342	
		b-2	996	
	水質浄化便益	c-1	418	
		c-2	1,218	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	272,379	
便 益 合 計 (B)			282,845	
事業費 (C) (様式2にて算出)		177,874 千円		
費用対効果分析	$B \div C = \frac{282,845}{177,874} = 1.59$			

様式1

整理番号 8

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山
施工箇所：不動谷川

都道府県名：和歌山

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	530	
		a-2	382	
	流域貯水便益	b-1	105	
		b-2	76	
	水質浄化便益	c-1	129	
		c-2	93	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	31,866	
便 益 合 計 (B)			33,181	
事 業 費 (C) (様式2にて算出)			19,231 千円	
費用対効果分析	$B \div C = \frac{33,181}{19,231} = 1.73$			

様式1

整理番号 9

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：山地災害総合減災対策治山
施工箇所：権現山103

都道府県名：和歌山

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評価額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	418	
	流域貯水便益	b-1	235	
	水質浄化便益	c-1	288	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	143,340	
便 益 合 計 (B)			144,281	
事業費 (C) (様式2にて算出)			40,626	千円
費用対効果分析	$B \div C = \frac{144,281}{40,626} = 3.55$			

様式1

整理番号 10

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：森林水環境総合整備
施工箇所：山王谷本流

都道府県名：鳥取

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	251,720	
		a-2	13,765	
	流域貯水便益	b-1	75,834	
		b-2	4,147	
	水質浄化便益	c-1	92,690	
		c-2	5,069	
山地保全便益	土砂流出防止便益	d-1	1,436,504	
		d-2	78,554	
	土砂崩壊防止便益	e-1	114	
		e-2	13	
便 益 合 計 (B)			1,958,410	
事 業 費 (C) (様式2にて算出)			169,762 千円	
費用対効果分析	$B \div C = \frac{1,958,410}{169,762} = 11.54$			

様式1

整理番号 11

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山

都道府県名：島根

施工箇所：シヤクショフ沢

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	542	
		a-2	4,951	
	流域貯水便益	b-1	95	
		b-2	873	
	水質浄化便益	c-1	117	
		c-2	1,067	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	44,163	
便 益 合 計 (B)			51,808	
事 業 費 (C) (様式2にて算出)		30,233 千円		
費用対効果分析	$B \div C = \frac{51,808}{30,233} = 1.71$			

様式1

整理番号 12

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：予防治山
施工箇所：高鉢山4

都道府県名：島根

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	190	
		a-2	1,882	
	流域貯水便益	b-1	98	
		b-2	969	
	水質浄化便益	c-1	120	
		c-2	1,185	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	95,131	
便 益 合 計 (B)			99,575	
事業費 (C) (様式2にて算出)		76,358 千円		
費用対効果分析	$B \div C = \frac{99,575}{76,358} = 1.30$			

様式1

整理番号 13

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山
施工箇所：指谷山上流

都道府県名：広島

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-2	4,265	
	流域貯水便益	b-2	788	
	水質浄化便益	c-2	963	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	35,193	
便 益 合 計 (B)			41,209	
事業費 (C) (様式2にて算出)			11,538	千円
費用対効果分析	$B \div C =$		$\frac{41,209}{11,538}$	$= 3.57$

様式1

整理番号 14

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山
施工箇所：伊与谷

都道府県名：広島

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-2	2,472	
	流域貯水便益	b-2	399	
	水質浄化便益	c-2	488	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	43,992	
便 益 合 計 (B)			47,351	
事業費 (C) (様式2にて算出)			14,423 千円	
費用対効果分析	$B \div C = \frac{47,351}{14,423} = 3.28$			

様式1

整理番号 15

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：復旧治山

都道府県名：広島

施工箇所：猿ヶ城山752う3林小班

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分		評 価 額 B	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	a-1	1,431	
		a-2	1,885	
	流域貯水便益	b-1	210	
		b-2	277	
	水質浄化便益	c-1	257	
		c-2	338	
災害防止便益	山地災害防止便益	q-1	157,580	
便 益 合 計 (B)			161,978	
事 業 費 (C) (様式2にて算出)		80,621 千円		
費用対効果分析	$B \div C = \frac{161,978}{80,621} = 2.01$			